

単元名 形式と表現を工夫して書こう

配当時間 7時間

- 単元の目標 (1) 比喩や反復などの表現の工夫に気付くことができる。
 (2) 目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。
 (3) 学校生活の思い出を作品にし、自分の思いを効果的に伝えようとする。

標準的な展開例

06010306_001

【教材名】思い出を言葉に (P. 208～P. 211)

【準備等】知多の友、清書用紙

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 学習の見通しを立てる。 ★小学校生活を振り返り、心に残っていることを書いて伝えよう。 ○6年間の小学校生活で印象に残った出来事について話し合う。 ・学習 ・行事 ・委員会、クラブ など ○これまでの「書くこと」の学習で身に付けてきたことを振り返る。 ○教科書 (P. 208～211) を読み、学習の進め方を知る。 ○学習計画を立てる。</p> <p>2～3 伝えたいことを明確にする。 ○印象に残っている出来事を詳しく思い出す。 ○思い出した内容の中から何を中心に取り上げるのかを考える。 ○内容と構成を考え、「初め・中・終わり」に何を書くかをまとめる。</p> <p>4～6 形式を決め、表現を工夫して書く。 ○効果的に伝わるような表現の工夫を考える。 ・様子や心情により適した言葉 ・比喩やくり返し ・言葉や文の順序 ・言葉のリズムを整える など ○誤字脱字等がないか確かめ、推敲する。 ・詳しく書くとよいところや、自分の考えを表すのにふさわしい言葉を吟味する。 ○書き表し方を工夫して清書する。</p> <p>7 読み合って感想を交流し、学習を振り返る。 ○どの表現から、どんな思いが伝わってきたのかが分かるように伝え合う。 ○「ふりかえろう」で単元の学びを振り返る。 ・使ってみたい表現</p>	<p>・本単元は「知多の友」に掲載されているので十分に活用したい。</p> <p>・より多くの意見を取り上げることで、さまざまな角度からたくさんの思いをふくらませることができるようにする。 ・知多の友 (P. 53) を活用する。</p> <p>・これまでの学習を振り返らせながら、構成や表現を工夫して、今の思いが伝わるように書くというめあてをもたせる。</p> <p>・テーマを1つ選ばせる。</p> <p>・自分にとっての意味や価値などを考えて、伝えたいことを詳しく思い出させる。</p> <p>・知多の友 (P. 54) を活用する。 ・構成では「初め・中・終わり」を押さえる。</p> <p>・伝えたいことの中心をはっきりさせ、文章の構成を考えさせる。</p> <p>・知多の友 (P. 55～57) を活用する。 ・教科書 (P. 204) 「人を引きつける表現」、教科書 (P. 307～310) 「言葉の宝箱」を参考にさせる。 ・読み手の印象に残るように、特に伝えたいところについては、書き方についても工夫させる。</p> <p>【評】比喩や反復などの表現の工夫をして書く活動を通して、「知識・技能」を評価する。 ・声に出して読むなどして、確かめさせるとよい。</p> <p>【評】使う言葉を吟味しながら、学校生活の思い出を作品にする活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・読みやすい字で丁寧に清書させる。</p> <p>【評】清書する活動を通して、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことが明確になるように工夫して書く「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・比喩や反復などの表現の工夫に気付かせるようにする。 ・友達の表現の工夫から、自分が使ってみたい表現を考えさせる。 ・感想を伝え合うことで、自分の作品のよさを見付けさせる。 ・教科書 (P. 211) 「たいせつ」「いかそう」で身に付けた力を押さえる。</p>

【 備 考 】